

# 校長通信「学ばん共に」

新学期

## その9 「やる気・本気・根気を磨く2学期」

(2学期始業式式辞 オンライン) (2022/8/31)

### ▶1学期末、「自分を変えるのは自分」「求めて学ぶ夏」

という言葉掲げ、有意義な夏休みにしようとなみなさんに話しましたが…どうでしたか。39日間という長い休みを終えた今、どんな感想をもっていますか。「思った以上にがんばれた」という人…素晴らしいです。その達成感を励みに、次の目標を立て、さらに進みましょう。「あまり思うようにはできなかった」という人…中にはいるでしょう。その人は気持ちを切り替えて、今日からまた新たなスタートをきってください。そうしたチャレンジができる学校こそ「希望輝く 可美の学舎」です。

▶1年生にとって、この夏休みは、今までに体験したことのないものだったかもしれません。小学校に比べたら、宿題の量も多く、なかなか大変だった人もいることでしょう。夏の部活動は1学期よりも本格的な取り組みになり、毎日ハードだった人もいるでしょう。しかし、暑さに負けず部活に通い続けたこの数週間で記録が伸びたり、入らなかったシュートが決まったり、うまく出せなかった音が出せるようになったり…自分の成長を実感している人もきっといると思います。それは、とてもいいことです。大きな成長に期待しています。

▶1・2年生にとって、この2学期はやる気・本気・根気を磨く、つまり人としての幹を太くする大切な期間です。中学校生活のど真ん中です。この期間にどれだけ前向きに学校生活をおくれるかどうか、そこに大きな成長の鍵があります。また、「仲間を大切に」「行事に燃える」「部活に熱中する」「授業・テストに真剣に取り組む」等、自分の可能性を信じて、積極的に毎日の学校生活を送りましょう。行動することで、人は自信を得るものだと思います。さらなる飛躍を願っています。

▶そして、3年生。2学期に予定されている行事の主役は、まちがいなく3年生です。互いに切磋琢磨して、下級生を圧倒してください。夏の大会で見せた気迫・情熱、そして粘り強さを思う存分発揮してほしいと思います。また、受検生として、この夏をどう過ごしてきたか…その結果の一部は、9/2の県学力調査や9/9の定着度調査Ⅱにも表れることでしょう。テスト直前まで、粘り強く取り組む人の

みが力を発揮できます。でも、思うような結果が出なかったとしても、前を向き、地道な取り組みを続けてほしいと思います。受検は短距離走ではありません。7ヶ月走り続ける持久走です。行事・勉強に真剣に取り組む可美中3年生を、先生方はこれからもみんなで応援します。

▶もう一つ、みなさんにお話ししたいことがあります。ちょっといい話です。夏休みが始め頃、美術部の生徒たちが、昇降口前ピロティの壁に素晴らしい絵を描いてくれました。水飲み場の向かい側です。すでに観た人もいると思いますが、まだ観ていない人はぜひ観てください。爽やかな気持ちになる素敵な壁画です。また、夏休みの初めから練習に取り組んでいる駅伝部のみなさんも、可美中の代表として、大変がんばってくれています。是非みんなで応援しましょう。



▶まだまだ、暑い日が続きます。暑さに負けず、コロナにも負けず、充実した2学期になるよう、1日1日を大事にしていきましょう。以上を、2学期始業式の話といたします。最後まで聞いてくださり、ありがとうございました。

(北村健治)